


【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	沼田市家庭教育支援チーム (呼称: 利根サイエンスクラブ) URL: 無し
活動開始年度	平成19年度
活動拠点	沼田市地内
活動範囲	利根沼田地区全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (沼田環境ネット補助金)
組織体制	<u>10人</u> 教員5人、元教員1人、元学童保育指導員2人、行政職員(社会教育)2人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 主に利根沼田地域において、自然の不思議さやおもしろさに触れる科学に関する親子もしくは大人又は子ども対象の体験活動等を企画・実施し、家庭教育支援を推進している。 平成19年度より、1回／年以上の事業実施実績がある。  <p style="text-align: center;">平成29年度「巨大ソーラーバルーンをあげよう」</p>

活動の成果	<p>親子の体験活動にこだわって、科学に関する体験活動を行うことにより、体験活動参加の子どもの年齢差に対応して、科学のおもしろさを、より多くの利根沼田地域の子どもたちに伝えるとともに、親に対して、親子でふれあうことの大切さを気付かせることにつながっている。また、参加した親が、次年度の事業実施にあたり、ボランティアとして関わるなど、家庭教育支援者の拡充につながっている。</p>
活動において苦勞した点や課題	<p>活動資金もたず、参加者からの材料費等の徴収で事業実施しているため、不慮の事態により、事業が中止となった場合に、すでに購入した事業のための物品の費用の補填が難しい。そこで、関連事業に対する補助金を得ることにより、事業を継続させている。</p> <p>参加者募集の広報について、沼田市教育委員会や利根教育事務所の支援を受けることにより、利根沼田地域全域を対象とすることができている。</p>
今後の活動目標	<p>現在は、就学後の子どもを持つ、主に父親の家庭教育参画を促すことをねらって事業を企画しているが、今後は地域の他団体（読み聞かせ団体等）とも連携しながら就学前の子どもの参加にも対応できる事業の実施を検討している。</p> <p>現在、年間に1回程度の事業を企画しているが、内容を検討して、事業実施回数 の拡大を図る予定である。</p>
問合せ先	<p>(部署・氏名等)</p> <p>利根サイエンスクラブ 事務局 中島 正裕</p> <p>(E-mail) oyaji-c@apost.plala.or.jp</p>